

新型コロナ 5類移行、解熱剤が品薄になる可能性 病院副院長「重症化リスクのある人は早めの検査を」

5/1 愛知のニュース



<https://news.tv-aichi.co.jp/single.php?id=1701>

連休明けの5月8日から、新型コロナウイルスの分類が5類に移行します。私たちはどのような行動や備えをするべきなのか。藤田医科大学病院の岩田充永副院長に話を聞きました。

重症化リスクのある人は早めの検査が必要

新型コロナ 今月8日から5類に 対応と備えは？ 5時スワ

新型コロナ「2類相当」から「5類」へ移行

	現在	今月8日(月)以降
感染状況の把握	全数把握	定点把握
行動制限	感染者:7日間の自宅療養 濃厚接触者:5日間の自宅待機	外出自粛は個人の判断
医療費・検査費	公費負担	1割~3割 自己負担
ワクチン接種	公費負担	公費負担 (来年3月末まで)

5類に移行

——新型コロナウイルスが5類に移行後、私たちが発熱して38度の熱が出た場合、これまでの発熱外来ではなく、まちの病院やかかりつけ医を受診しても良いのでしょうか。規則上はそうなります。最も大切なのは、自身が感染した場合に重症化リスクがあるかどうかです。重症化するリスクのある人は、早めに検査をして重症化を予防する薬につなげることが大切です。重症化リスクの高い持病のある人は早急に検査を受けて、陽性であれば、すぐに受診することが必要になります。

ほとんどの人は、数日発熱して軽症で済みます。医療機関で処方する解熱剤と、市販の解熱剤は成分がほとんど同じなので、市販の解熱剤を内服してもらい、自宅で様子を見てもらっても平気な人がほとんどだと思います。

重症化する人が感染した場合、市販の検査キットでも構わないので早めに検査をしてもらうこと、そして重症化を予防する薬につなげることが最も大切なことだと思います。

家族が感染した場合はマスクの着用が有効

——自宅に準備しておくべきものは、解熱剤と市販のキットでしょうか。

新型コロナウイルスがまた流行して感染が増えると、解熱剤が品薄になる場合があります。感染が落ち着いているときに、常備薬に加えていただくと良いと思います。そして、家族に重症化のリスクのある人がいる場合は、検査キットを備えておくこともとても大切になります。

——家族が新型コロナウイルスに感染してしまった場合は、具体的にどのような行動をするのが良いでしょうか。

5類移行後は、特に行動の制限はないことが前提になります。しかし、家族と一緒に生活をしていると、感染してしまう危険は高いです。自身に症状がなければ、マスクをすることが大切になると思います。

マスクの効果は、自分が知らない間に感染していても、周りの人に感染を広げる危険を下げる効果が効果として認められています。家族に感染者がいても外出しないといけない場合には、感染を広げないためにもマスクの着用がとても重要です。

コロナ第9波は第8波よりも感染規模は小さい見通し 医師会は医療機関にお盆期間中の体制強化依頼

8/8(火) 愛知テレビ



<https://news.yahoo.co.jp/articles/254a0cb6ac22fea7bf7e9bbd699ee644d3c83174>

再び感染が広がっている新型コロナウイルス。愛知県は8月8日に、新型コロナウイルスの対策本部会議を開きました。

県医師会の柵木充明会長は、第9波に入っていることは間違いないとして、各医療機関にお盆期間中の体制の強化を依頼していると話しました。

また第9波は、第8波よりも小さい規模になるという見通しも示しました。先行して第9波に入った沖縄県の状況などから予測したとしています。

7月末の1週間の県内の感染者数は1医療機関あたり20.82人で、県は1日5000人程度の感染を確認していた2022年11月半ばと同程度だとしています。